

D-Link DMC シリーズ

DMC-1000/1001/1002/JB/300SC/515SC/920T/920R
/1910T/1910R/805G/810SC/700SC

ユーザマニュアル



安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

 危険	この表示を無視し、間違った使い方をすると、死亡または重傷を負うおそれがあります。
 警告	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
 注意	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物的損害が発生するおそれがあります。

記号の意味  してはいけない「**禁止**」内容です。  必ず実行していただく「**指示**」の内容です。

危険

 **禁止** 分解・改造をしない
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 **禁止** ぬれた手でさわらない
感電の原因となります。

 **禁止** 水をかけたり、ぬらしたりしない
内部に水が入ると、火災、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）
でぬれた状態で触ったり、電源を入れたりしない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 各種端子やスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、
ペットの尿など）をいれない。万が一、入ってしまった場合は、
直ちに電源プラグをコンセントから抜く
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 油煙、湯気、湿気、埃の多い場所、高温になる場所や
熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、
こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内、
風呂場など）、振動の激しい場所では、使用、保管、放置しない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 内部に金属物や燃えやすいものを入れない
火災、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしない。
また、砂などが付着した手で触れない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

 **禁止** 電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理機、
圧力釜など高圧容器に入れたり、近くに置いたりしない
火災、やけど、けが、感電、故障の原因となります。

警告

 **禁止** 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを
与えたり、圧力をかけたりしない
故障の原因となります。

 **禁止** 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま
使用しない
感電、火災の原因となります。
使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなって
から販売店に修理をご依頼ください。

 **禁止** 表示以外の電圧で使用しない
火災、感電、または故障の原因となります。

 **禁止** たこ足配線禁止
たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の
原因となります。

 **指示** 設置、移動のときは電源プラグを抜く
火災、感電、または故障の原因となります。

 **禁止** 雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない
感電の原因となります。

 **禁止** ケーブル/コード類や端子を破損させない
無理なねじり、引っ張り、加工、重いもの下敷きなどは、
ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、
または故障の原因となります。

 **指示** 本製品付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルを
指定のコンセントに正しく接続して使用する
火災、感電、または故障の原因となります。

 **禁止** 各光源をのぞかない
光ファイバケーブルの断面、コネクタおよび本製品のコネクタや
LED をのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。

 **禁止** 各種端子やスロットに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を
接触させたり、ほごりが内部に入ったりしないようにする
火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。

 **禁止** 使用中に布団で覆ったり、包んだりしない
火災、やけどまたは故障の原因となります。

 **指示** ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や
粉じんが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切る
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

 **禁止** カメラのレンズに直射日光などを長時間あてない
素子の退色、焼付きや、レンズの集光作用により、
火災、やけど、けがまたは故障の原因となります。

 **指示** 無線製品は病院内で使用する場合は、
各医療機関の指示に従って使用する
電子機器や医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。

 **禁止** 本製品の周辺に放熱を妨げるようなもの
（フィルムやシールでの装飾を含む）を置かない
火災、または故障の原因となります。

 **指示** 耳を本体から離してご使用ください
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴などの耳の障害の原因となります。

 **指示** 無線製品をご使用の場合、医用電気機器などを
装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは、
販売業者に、電波による影響について確認の上使用する
医療電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。

 **指示** 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う
電子機器の近くでは使用しない
電子機器が誤作動するなど、悪影響を及ぼすおそれがあります。

 **指示** ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際は、
割れたガラスや露出した端末内部に注意する
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電の原因となります。

 **指示** ペットなどが本機に噛みつかないように注意する
火災、やけど、けがなどの原因となります。

 **禁止** コンセントに AC アダプタや電源ケーブルを
抜き差しするときは、金属類を接触させない
火災、やけど、感電または故障の原因となります。

 **禁止** AC アダプタや電源ケーブルに
海外旅行用の変圧器等を使用しない
発火、発熱、感電または故障の原因となります。

⚠ 警告

- ❗ ACアダプタもしくは電源プラグについたほこりは、拭き取るほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- ❗ ACアダプタや電源ケーブルをコンセントにさしこむときは、確実に差し込む。確実に差し込まないと、火災、やけど、感電もしくは故障の原因となります。
- ❗ 接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用を中止する。また、変形をもとに戻しての使用も行わない。端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電または故障の原因となります。
- ❗ 各種接続端子を機器本体に接続する場合、斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしない。火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- ❗ 使用しない場合は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、ACアダプタもしくは電源ケーブルをコンセントから抜く。抜かずに行くと、火災、やけど、感電または故障の原因となります。
- 🚫 SD や MicroSD カード、USB メモリの使用中は、カードやメモリを取り外したり、本製品の電源を切ったりしない。データの消失、機器本体の故障の原因となります。
- 🚫 磁気カードや磁気を帯びたものを本製品に近づけない。磁気カードのデータが消えてしまうおそれもしくは機器本体の誤作動の原因となります。
- ❗ ディーリンクジャパンが販売している無線機器は国内専用のため、海外で使用しない。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられる場合があります。海外から持ち込んだディーリンク製品や並行輸入品を日本国内で使用する場合も同様に、罰せられる場合があります。

⚠ 注意

- 🚫 乳幼児の手の届く場所では使わない。やけど、ケガまたは感電の原因となります。
- ❗ 静電気注意。コネクタや電源プラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけると故障の原因となります。
- 🚫 コードを持って抜かない。コードを無理に曲げたり、引っ張ると、コードや機器本体の破損の原因となります。
- 🚫 振動が発生する場所では使用しない。故障の原因となります。
- ❗ 付属品の使用は取扱説明書に従う。本製品の付属品は、取扱説明書に従い、他の製品に使用しないでください。機器の破損の原因となります。
- 🚫 破損したまま使用しない。火災、やけどまたはけがの原因となります。
- 🚫 ぐらついた台の上や傾いた場所などの不安定な場所や高所には置かない。落下して、けがなどの原因となります。
- 🚫 子供が使用する場合は、保護者が取扱いの方法を教え、誤った使い方をさせない。けがや故障などの原因となります。
- ❗ 本製品を長時間連続使用する場合は、温度が高くなることがあるため、注意する。また、使用中に眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにする。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどの原因となります。
- 🚫 コンセントにつないだ状態で、ACアダプタや電源コンセントに長時間触れない。やけど、感電の原因となります。
- ❗ 一般の電話機やコードレス電話、テレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用しない。近くで使用すると、本製品が悪影響を及ぼす原因となる場合があるため、なるべく離れた場所で使用してください。
- 🚫 D-Link が指定したオプション品がある場合は、指定オプション品を使用する。不正なオプション品を使用した場合、故障、破損の原因となります。

電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- マニュアルなどに記載されている以外の方法での使用はやめてください。
- 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。
- 本製品の開口部に物をさしこまないでください。火事や感電を引き起こすことがあります。
- 付属の AC アダプタもしくは電源ケーブルのみを使用してください。
- 感電を防止するために、本製品と周辺機器の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。
- やむなく延長コードや電源分岐回路を使用する場合においても、延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは、電源分岐回路の定格アンペア限界の 8 割を超えないことを確認してください。
- 一時的に急激に起こる電力の変動から本製品を保護するためには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置（UPS）を使用してください。
- ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたり躓いたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- 電源ケーブルや電源プラグを改造しないでください。
- システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
 - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
 - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
 - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いておいてください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取り扱い説明書に従ってください。
- 本製品は動作中に高温になる場合があります。本製品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 本製品は動作中に高温になる場合がありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどの原因になります。
- 市販のオプション品や他社製品を使用する場合、当社では動作保証は致しませんので、予めご了承ください。
- 製品に貼られている製品ラベルや認証ラベルをはがさないでください。はがしてしまうとサポートを受けられなくなります。

静電気障害を防止するために

静電気は、本製品内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、本製品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。

さらに、静電気放出（ESD）による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 機器を箱から取り出すときは、機器をシステム等に取り付ける準備が完了するまで、本製品を静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に必ず静電気対策を行ってください。
3. 静電気に敏感な機器の取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

電源の異常

万一停電などの電源異常が発生した場合は、必ず本スイッチの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。

必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書、設置マニュアル、および弊社 WEB に掲載された製品保証規程をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従ってご使用ください。

製品保証規定は以下を参照ください。

<https://www.dlink-jp.com/support/info/product-assurance-provision.html>

- 本書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 弊社製品の日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。
- 弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。
- 弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用前にご確認ください。

製品保証、保守サービス、テクニカルサポートご利用について、詳しくは弊社ホームページのサポート情報をご確認ください。

<https://www.dlink-jp.com/support>

警告 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。

目次

安全にお使いいただくために.....	2
ご使用上の注意.....	4
静電気障害を防止するために.....	4
電源の異常.....	4
本マニュアルの対象者.....	7
表記規則について.....	7
製品名 / 品番一覧.....	7
1. 本製品の特長.....	8
シャーシ / リダンダント電源ユニット / マネージメントモジュール.....	8
1000M メディアコンバータ.....	8
100M メディアコンバータ.....	8
2. パッケージの内容を確認する.....	9
3. 各部の名称と働き.....	10
シャーシ / リダンダント電源ユニット / マネージメントモジュール.....	10
1000M メディアコンバータ.....	12
100M メディアコンバータ.....	14
4. 設置と接続.....	16
設置する場合の注意.....	16
19 インチラックへの設置.....	16
拡張モジュールのシャーシへの取り付け.....	17
SFP モジュールの取り付け.....	18
マネージメントシステムでの管理について.....	19
ディップスイッチを使った機能設定.....	20
二波長シングルファイバモード.....	22
5. 付録.....	23
リンクパススルー機能について.....	23
6. 保証とテクニカルサポート.....	25
製品に関する保証について.....	25
製品に関するお問い合わせについて.....	25
お問い合わせに必要な情報.....	25
個人情報のお取り扱い.....	25
日本国外での使用について.....	25
廃棄方法について.....	25
商標について.....	25
ご注意.....	25

本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

表記規則について

本項では、本マニュアル中での表記方法について説明します。

注意 注意では、使用にあたっての注意事項について説明します。

警告 警告では、ネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

補足 補足では、特長や技術についての詳細情報について説明します。

参照 参照では、別項目での説明へ誘導します。

表 1 に、本マニュアル中での字体・記号についての表記規則を表します。

表 1 字体・記号の表記規則

字体・記号	解説	例
「」	メニュータイトル、ページ名、ボタン名。	「Submit」 ボタンをクリックして設定を確定してください。
青字	参照先。	" ご使用になる前に " (13 ページ) をご参照ください。
courier フォント	CLI 出力文字、ファイル名。	(switch-prompt)#
courier 太字	コマンド、ユーザによるコマンドライン入力。	show network
courier 斜体	コマンドパラメータ (可変または固定)。	value
<>	可変パラメータ。<>にあたる箇所に値または文字を入力します。	<value>
[]	任意の固定パラメータ。	[value]
[<>]	任意の可変パラメータ。	[<value>]
{}	{ } 内の選択肢から 1 つ選択して入力するパラメータ。	{choice1 choice2}
(垂直線)	相互排他的なパラメータ。	choice1 choice2
[[]]	任意のパラメータで、指定する場合はどちらかを選択します。	[[choice1 choice2]]

製品名 / 品番一覧

製品名	品番	H/W バージョン
DMC-1000	DMC-1000	A3
DMC-1001	DMC-1001	A4
DMC-1002/JB	DMC-1002/JB	B1
DMC-1910T	DMC-1910T	A9
DMC-1910R	DMC-1910R	A9
DMC-805G	DMC-805G/A11	A11
DMC-810SC	DMC-810SC	B9
DMC-700SC	DMC-700SC	B9
DMC-920T	DMC-920T/B10	B10
DMC-920R	DMC-920R/B10	B10
DMC-515SC	DMC-515SC	D7
DMC-300SC	DMC-300SC	D8

1. 本製品の特長

1. 本製品の特長

DMC コンバータシリーズは、イーサネット信号を中長距離 / 高品質 / 高速伝送する光ファイバに変換するメディアコンバータ、シャーシおよびマネジメントモジュールより構成される統合的なメディアコンバージョンシステムです。光メディアコンバータは、多彩なインターフェースに対応しており、環境に応じて選択可能です。これらは、単独での使用のほか、16 個の拡張ベイを持つ電源内蔵型シャーシに装着も可能で、19 インチラックに収納できます。さらに、SNMP 機能を持つ拡張モジュールをシャーシに装着することで各モジュールの管理も可能となります。

シャーシ / リダンダント電源ユニット / マネジメントモジュール

DMC-1000、DMC-1001、DMC-1002/JB

- 16 個の拡張ベイ付きシャーシ
 - 電源内蔵、19 インチラックに対応
 - LED により拡張ベイ、ファンおよび電源のステータスを表示
 - すべての拡張ベイにホットスワップ用電力供給
 - オプションの SNMP モジュール (DMC-1002/JB) を装着することで本シャーシおよび装着したコンバータの管理が可能
 - オプションのリダンダント電源ユニット (DMC-1001) を装着することで高信頼性のシステム構築が可能
-

1000M メディアコンバータ

DMC-1910T/R、DMC-805G、DMC-810SC、DMC-700SC

- 1000BASE-T と 1000BASE-X(SFP) トランシーバ間の信号変換 (DMC-805G)
- 1000BASE-T と 1000BASE-LX 間の信号変換 (DMC-810SC)
- 1000BASE-T と 1000BASE-BX の信号変換 (DMC-1910T/1910R) ※
- DMC-1910T と DMC-1910R は WDM メディアコンバータで、それぞれ対向機器として使用
- 伝送路に応じて 550m から 10km までの伝送距離に対応 (DMC-700SC/810SC/1910T/1910R)
- 伝送路に応じて SFP モジュールを装着し、2 芯マルチモードまたは 1 芯 / 2 芯シングルモード光ファイバケーブルを使用可能 (DMC-805G)
- リンクパススルー機能搭載
- 1000BASE-T ポートは Auto MDI/MDI-X、および全二重 / 半二重のオートネゴシエーション機能搭載
- 前面パネルにステータス LED 搭載
- スタンドアロンの使用、または 19 インチラック対応シャーシ (DMC-1000) への装着にて使用可能
- 交換時にホットスワップ可能

※ DMC-1910T と DMC-1910R は必ず対向でご利用ください。

100M メディアコンバータ

DMC-920T/R、DMC-515SC、DMC-300SC

- 10BASE-T/100BASE-TX と 100BASE-FX 間の信号変換 (DMC-300SC/DMC-515SC)
- 10BASE-T/100BASE-TX と 100BASE-BX 間の信号変換 (DMC-920T/920R)
- DMC-920T と DMC-920R は WDM メディアコンバータで、それぞれ対向機器として使用
- 伝送路に応じ、2km から 20km までの伝送距離に対応
- リンクパススルー機能搭載 (DMC-920T/920R)
- 10BASE-T/100BASE-TX ポートは Auto MDI/MDI-X、および全二重 / 半二重のオートネゴシエーション機能搭載
- 前面パネルにステータス LED 搭載
- スタンドアロンの使用、または 19 インチラックシャーシ (DMC-1000) への装着にて使用可能
- 交換時にホットスワップ可能

2. パッケージの内容を確認する

DMCシリーズそれぞれには以下のものが同梱されています。同梱物がすべてそろっているかをはじめにご確認ください。
万一、不足しているものがありましたら、ご購入頂いた販売代理店までお問い合わせください。

DMC-1000

本体 電源ケーブル ラックマウントキット ゴム足 マニュアル PL シート

DMC-1001

本体 マニュアル PL シート

DMC-1002/JB

本体 RS232C/RJ45 コンソールケーブル CD-ROM マニュアル PL シート

DMC-1910T/R

本体 AC アダプタ マニュアル PL シート

DMC-805G

本体 AC アダプタ マニュアル PL シート

DMC-810SC

本体 AC アダプタ マニュアル PL シート

DMC-700SC

本体 AC アダプタ マニュアル PL シート

DMC-920T/R

本体 AC アダプタ マニュアル PL シート

DMC-515SC

本体 AC アダプタ マニュアル PL シート

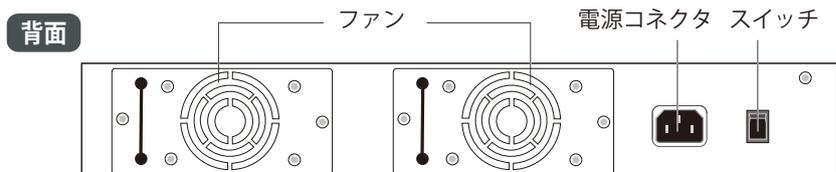
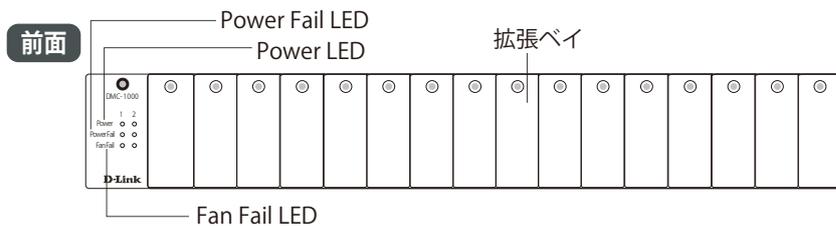
DMC-300SC

本体 AC アダプタ マニュアル PL シート

3. 各部の名称と働き

シャーシ/リダンダント電源ユニット/マネージメントモジュール

DMC-1000

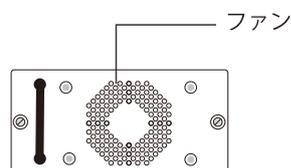


拡張ベイ	DMC シリーズの拡張モジュールを取り付けます。
ファン	本製品内部を冷却します。
電源コネクタ	電源ケーブルを接続します。
スイッチ	電源のオン、オフをします。

LED 1/2	色	状態	内容
Power	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
Power Fail	橙	点灯	電源ユニットに異常が発生しています。
Fan Fail	橙	点灯	ファンに異常が発生しています。

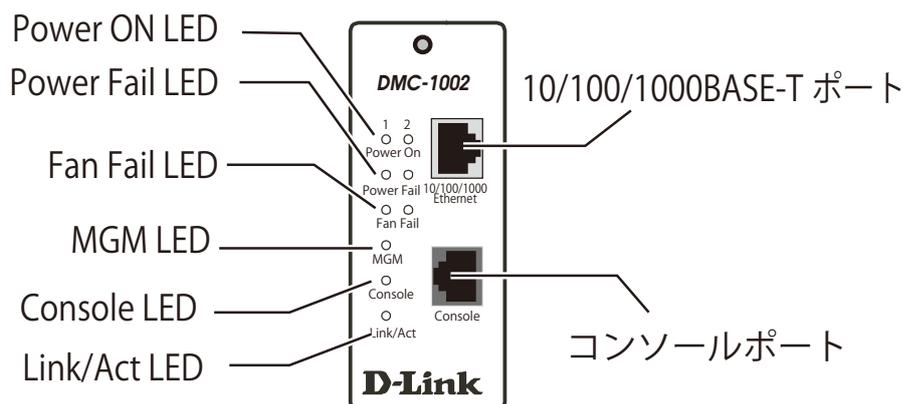
電源ユニットまたはファンの場所によって1または2が点灯します。

DMC-1001



ファン	本製品内部を冷却します。
-----	--------------

DMC-1002/JB



10BASE-T/100BASE-TX /1000BASE-T ポート	10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100/1000BASE-T の場合は、カテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。
コンソールポート	付属の RS232C/RJ45 コンソールケーブルを接続します。

LED	状態	色	状態説明
Power ON	点灯	緑	電源ユニットが正常に動作しています。
	消灯	—	電源ユニットは動作していません。
Power Fail	点灯	橙	電源ユニットに異常が発生しています。
	消灯	—	電源ユニットは正常です。
Fan Fail	点灯	橙	ファンに異常が発生しています。
	消灯	—	ファンは正常です。
MGM	点滅	緑	DMC-1002/JB(CPU) が正常に動作中です。
	点滅	橙	DMC-1002/JB(CPU) に異常が発生しています。
Console	点滅	緑	緑点滅コンソールポートから正しいデータを送信中です
	点滅	橙	コンソールポートから異常なデータを送信中です
	消灯	—	リンクが確立していません。
Link/Act	点灯	緑	リンクが確立しています。
	点滅		データを送受信しています。
	消灯	—	リンクが確立していません。

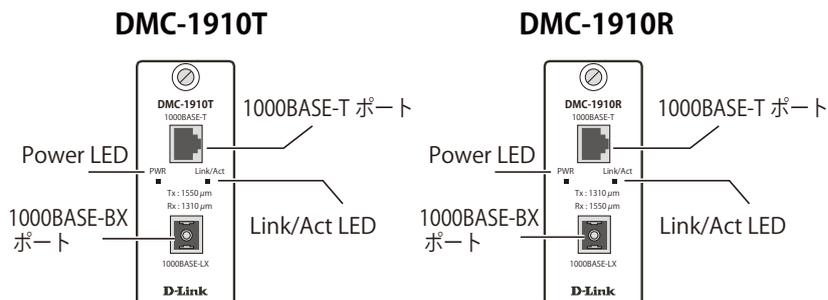


DMC-1002/JB の設定、設置方法の詳細については「D-Link DMC-1002/JB ユーザマニュアル」をご確認ください。

3. 各部の名称と働き

1000M メディアコンバータ

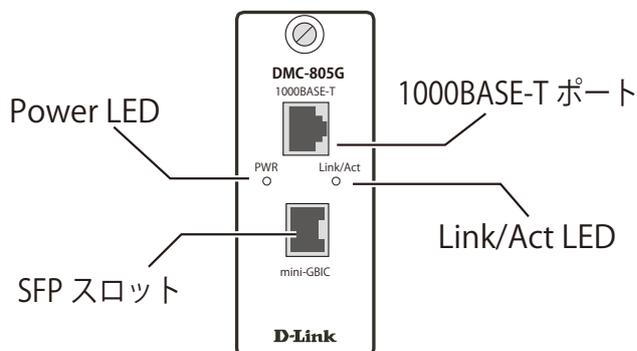
DMC-1910T/R



1000BASE-Tポート	エンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。
1000BASE-BXポート	1 芯シングルモード光ファイバケーブル (9/125 μ m) を接続します。

LED	色	状態	内容
PWR	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
LINK/ACT	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	-	消灯	リンクが確立していません。

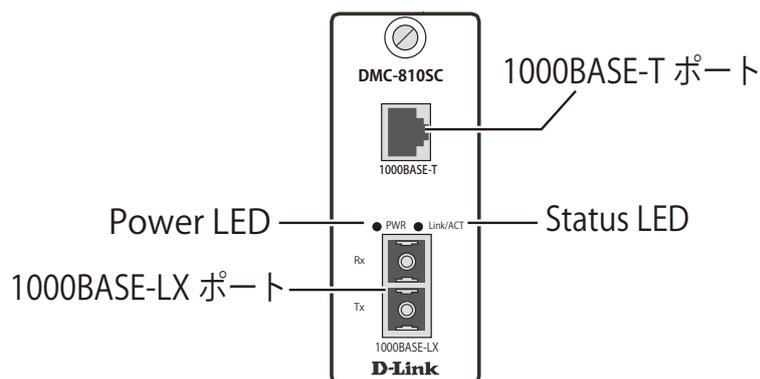
DMC-805G



1000BASE-Tポート	エンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。
SFP スロット	オプションの SFP モジュール (1Giga) を接続します。

LED	色	状態	内容
PWR	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
LINK/ACT	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	-	消灯	リンクが確立していません。

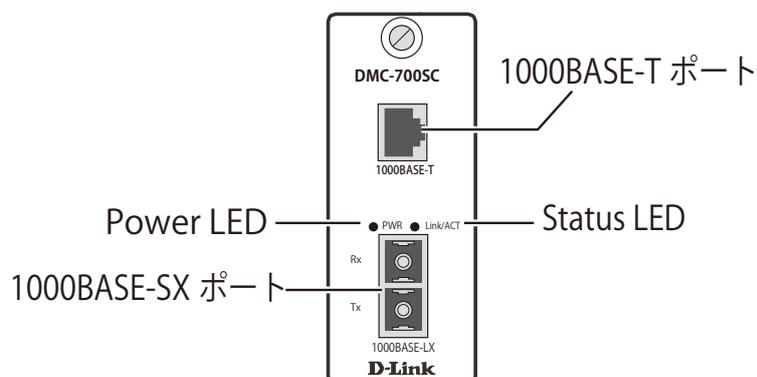
DMC-810SC



1000BASE-T ポート	エンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。
1000BASE-LX ポート	2 芯シングルモード光ファイバケーブル (9/125 μ m) を接続します。

LED	色	状態	内容
PWR	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
LINK/ACT	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	-	消灯	リンクが確立していません。

DMC-700SC



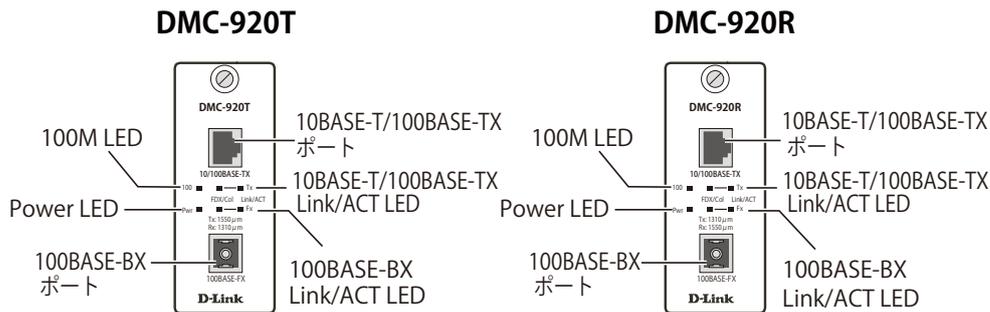
1000BASE-T ポート	エンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。
1000BASE-SX ポート	2 芯マルチモード光ファイバケーブル (50/125 μ m、62.5/125 μ m) を接続します。

LED	色	状態	内容
PWR	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
LINK/ACT	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	-	消灯	リンクが確立していません。

3. 各部の名称と働き

100M メディアコンバータ

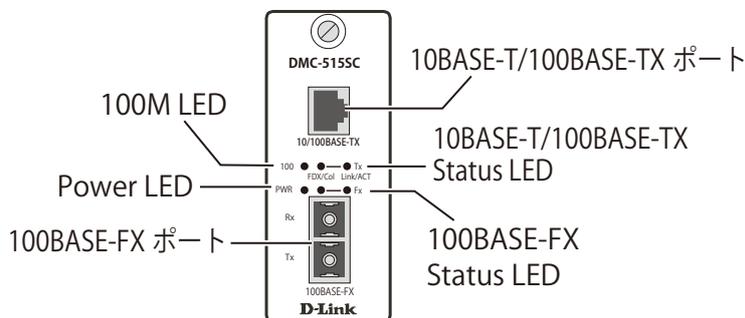
DMC-920T/R



10BASE-T/100BASE-TX ポート	10BASE-T: エンハンスドカテゴリ 3 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。 100BASE-TX: エンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。
100BASE-BX ポート	1 芯シングルモード光ファイバケーブル (9/125 μm) を接続します。

LED	色	状態	内容
Power	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
100M	緑	点灯	T/TX ポートで 100Mbps でリンクが確立しています。
	-	消灯	T/TX ポートで 10Mbps でリンクが確立しています。
FDX/COL	緑	点灯	全 2 重モード (Full Duplex) でリンクが確立しています。
	-	消灯	半 2 重モード (Half Duplex) でリンクが確立しています。
	緑	点滅	コリジョンが発生しています。
LINK/ACT	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	-	消灯	リンクが確立していません。
FAIL	緑	点灯	物理的に接続されていません。
	-	消灯	正常に接続されています。

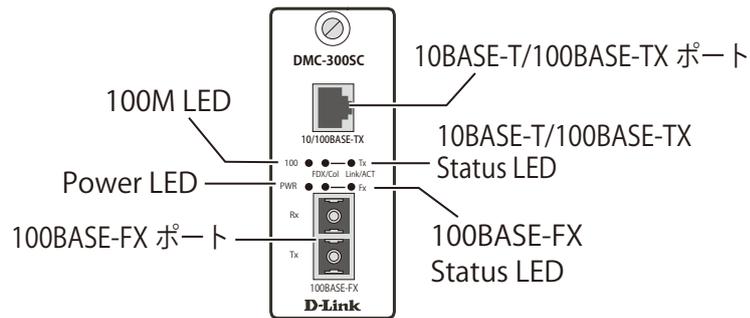
DMC-515SC



10BASE-T/100BASE-TX ポート	10BASE-T: エンハンスドカテゴリ 3 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。 100BASE-TX: エンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。
100BASE-FX ポート	2 芯シングルモード光ファイバケーブル (9/125 μm) を接続します。

LED	色	状態	内容
Power	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
100M	緑	点灯	T/TX ポートで 100Mbps でリンクが確立しています。
	-	消灯	T/TX ポートで 10Mbps でリンクが確立しています。
FDX/COL	緑	点灯	全 2 重モード (Full Duplex) でリンクが確立しています。
	-	消灯	半 2 重モード (Half Duplex) でリンクが確立しています。
	緑	点滅	コリジョンが発生しています。
LINK/ACT	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	-	消灯	リンクが確立していません。

DMC-300SC



10BASE-T/100BASE-TX ポート	10BASE-T: エンハンスドカテゴリ 3 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。 100BASE-TX: エンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。
100BASE-FX ポート	2 芯マルチモード光ファイバケーブル (50/125 μ m、62.5/125 μ m) を接続します。

LED	色	状態	内容
Power	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
100M	緑	点灯	100Mbps でリンクが確立しています。
	-	消灯	10Mbps でリンクが確立しています。
FDX/COL	緑	点灯	全 2 重モード (Full Duplex) でリンクが確立しています。
	-	消灯	半 2 重モード (Half Duplex) でリンクが確立しています。
	緑	点滅	コリジョンが発生しています。
LINK/ACT	緑	点灯	リンクが確立しています。
	緑	点滅	データを送受信しています。
	-	消灯	リンクが確立していません。

4. 設置と接続

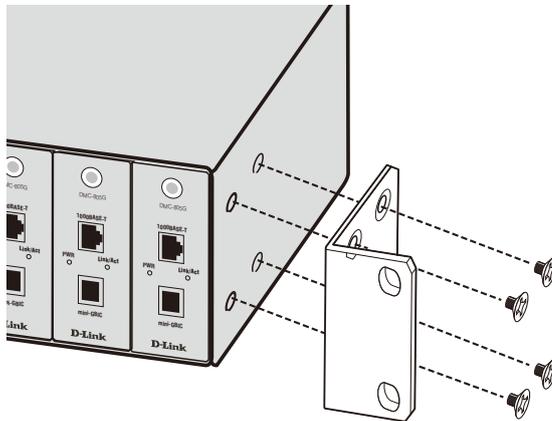
設置する場合の注意

はじめに「安全にお使いいただくために」をお読みください。また、設置する際には以下の点に注意してください。

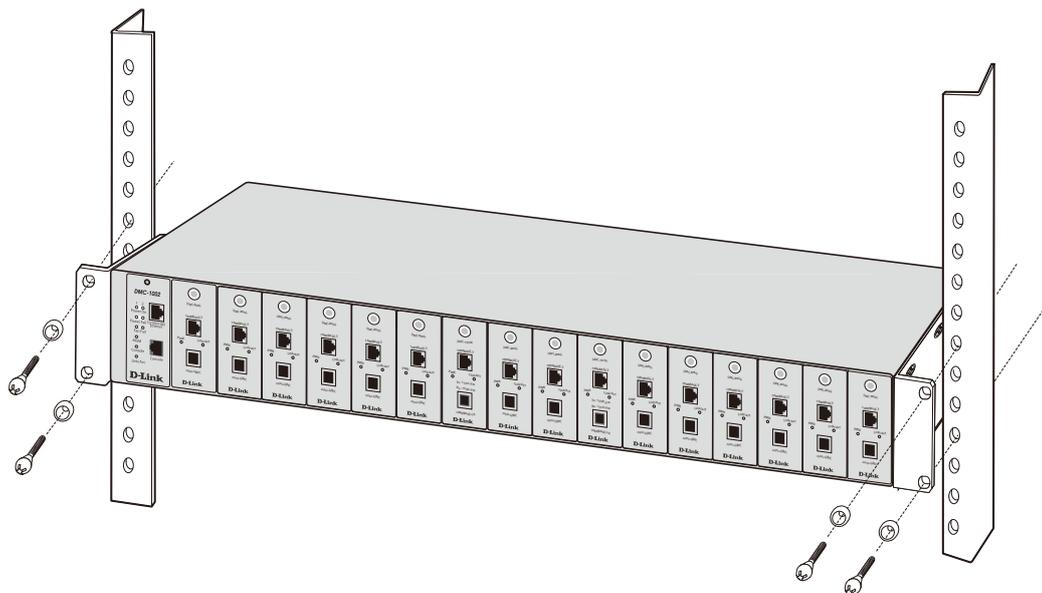
- 直射日光のあたる場所、高温多湿となる場所、または電磁波の影響の大きい場所を避けて設置してください。
- しっかりとした水平面に設置し、不安定な場所や傾いた場所に設置しないでください。
- 1.8m 以内の電源コンセントを使用してください。
- 本体の上に重いものを置かないでください。
- 光源をのぞかないでください。
- 電源ケーブルが電源ポートにしっかりと差し込まれているか確認してください。
- 本製品の周辺で熱の放出と十分な換気ができることを確認してください。換気のためには少なくとも製品の前後 16cm 以上の空間を保つようにしてください。
- 本製品は動作環境範囲内の温度と湿度を保つことができる、なるべく涼しくて乾燥した場所に設置してください。
- 本製品は強い電磁場が発生するような場所（モータの周囲など）や、振動、ほこり、および直射日光を避けて設置してください。

19 インチラックへの設置

1. 電源ケーブル、AC アダプタ、およびケーブル類がシャーシ、拡張モジュールに接続していないことを確認します。
2. DMC-1000 に付属のネジを使用し、DMC-1000 両側側面にブラケットを取り付けます。



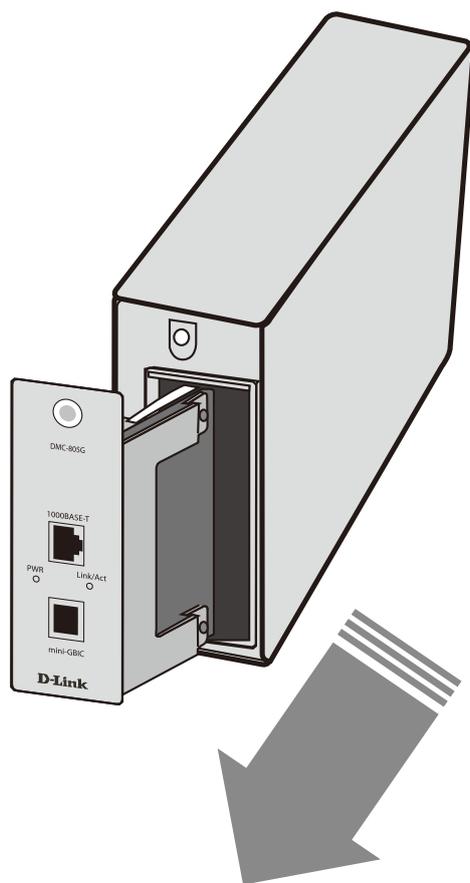
3. 19 インチラックに付属のネジを使用し、シャーシをラックに固定します。



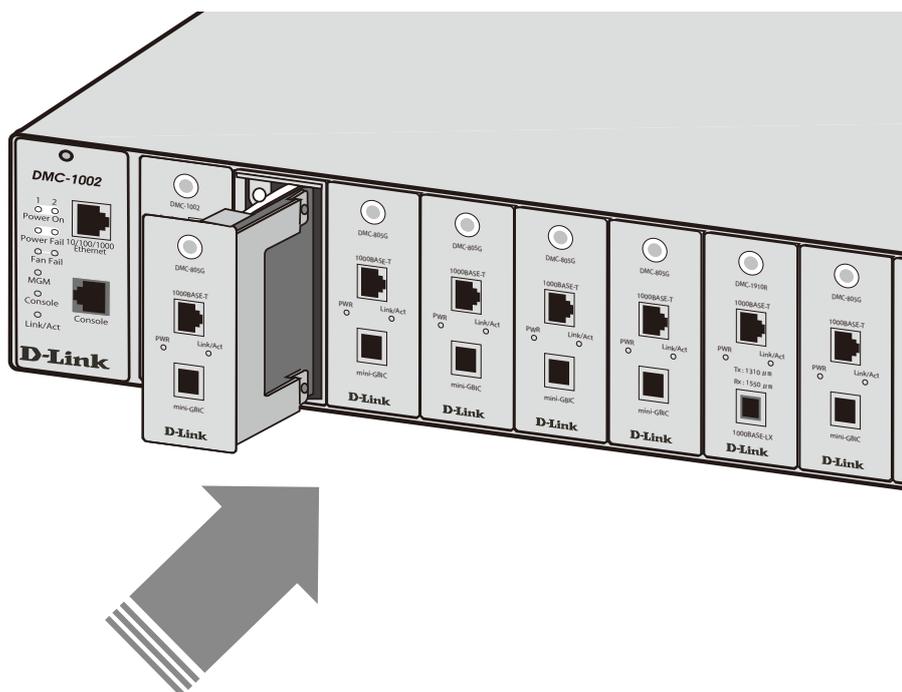
注意 DMC-1000 をラックに固定するネジは付属品に含まれません。別途ご用意ください。

拡張モジュールのシャーシへの取り付け

1. スタンドアロン用シャーシからモジュールを取り外します。



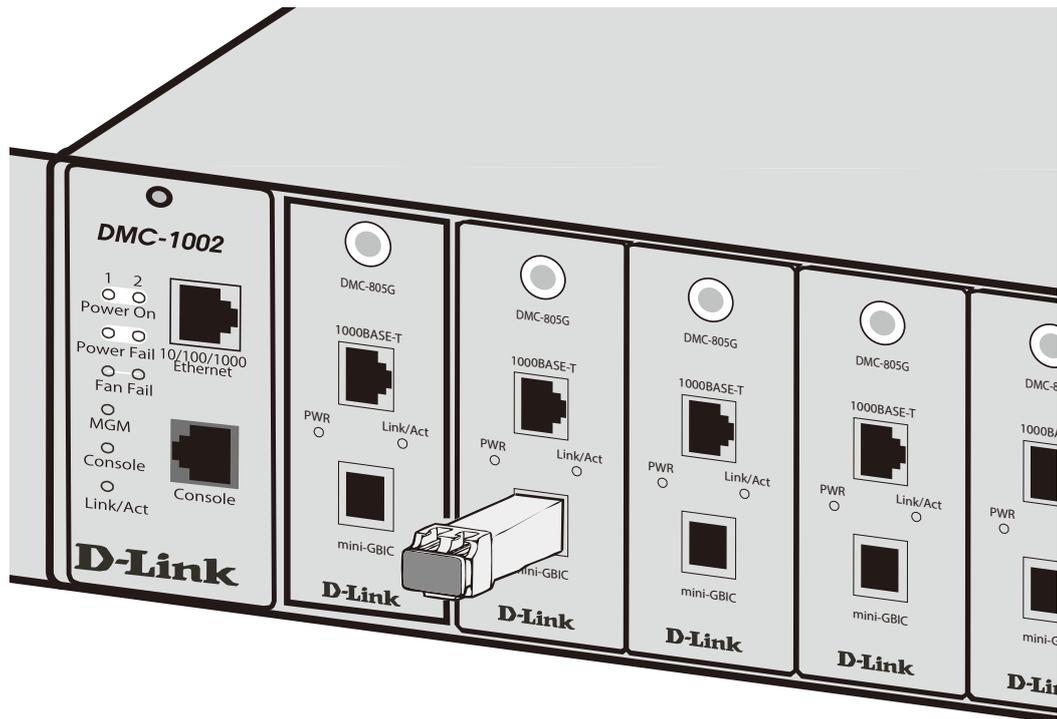
2. DMC-1000 のモジュールを装着する場所のスロットカバーを取り外します。
3. モジュールをガイドにそってスライドさせ、シャーシの結合部分に差し込みます。



4. モジュールのネジを時計回りに回して固定します。

SFP モジュールの取り付け

1. DMC-805G の SFP スロットに SFP モジュールを差し込みます。



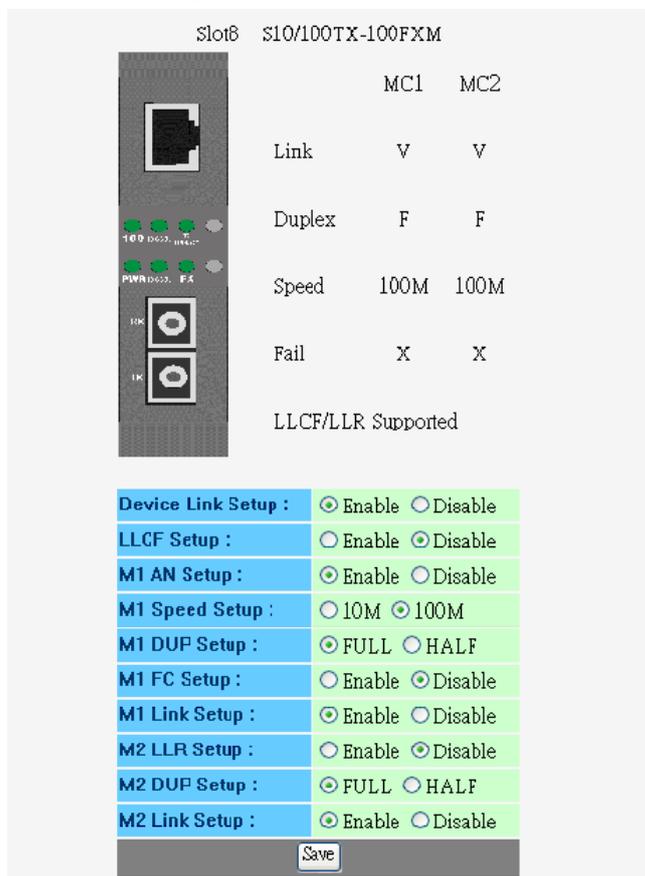
2. SFP モジュールのキャップをはずします。

マネジメントシステムでの管理について

シャーシのマネジメントシステム (DMC-1002/JB) を使用して、本製品を管理することができます。Web ブラウザ、SNMP 管理ユーティリティやターミナルエミュレーションプログラムを使用して、本製品を管理します。シャーシに設置すると製品のディップスイッチの状態を把握してステータスとして表示します。またマネジメントシステムを利用することで、本製品の機能管理も行うことができます。

注意 DMC-1002/JB の設定、設置方法については「D-Link DMC-1002/JB ユーザマニュアル」をご確認ください。

シャーシの管理モジュールから設定が行えます。



注意 表示項目や設定可能な項目は機種によって異なります。

4. 設置と接続

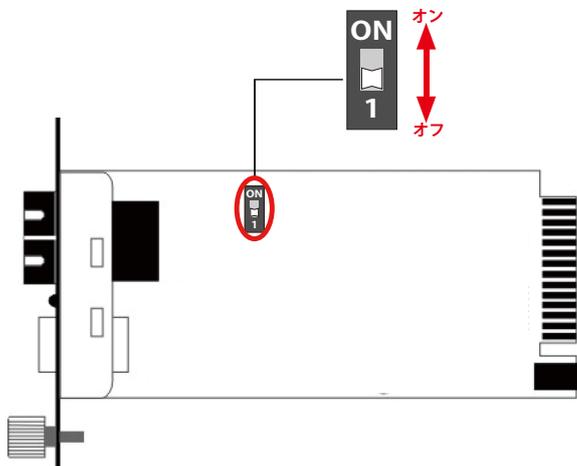
ディップスイッチを使った機能設定

各機器にはオートネゴシエーションや LLR および LLCF 機能などに対応するディップスイッチがあります。ディップスイッチを使用して機能を設定する場合、以下の内容で設定を行います。

注意 製品により、搭載されているディップスイッチの機能は異なりますのでご注意ください。

DMC-300SC/DMC-515SC

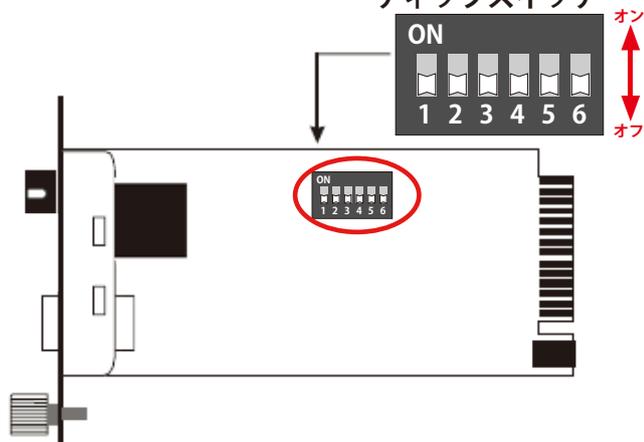
ディップスイッチ



ディップスイッチ	On/Off	内容
Switch 1	On	半二重モード
	Off	全二重モード (初期値)

DMC-920T/R

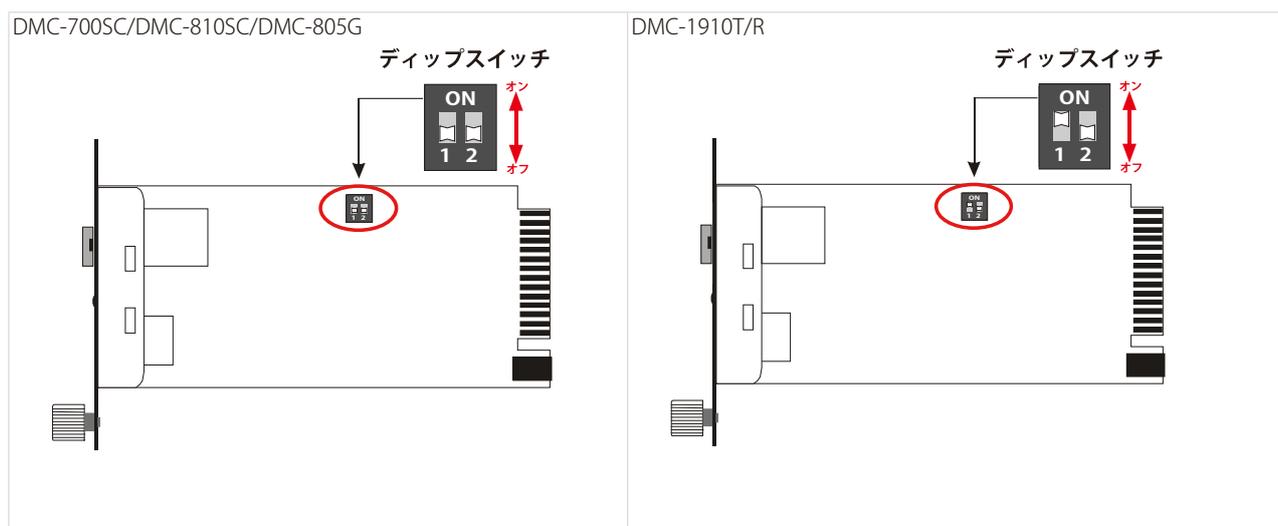
ディップスイッチ



ディップスイッチ	On/Off	内容
Switch 1 (全 / 半二重モード)	On	半二重モード
	Off	全二重モード (初期値)
Switch 2 (Copper モード)	On	全 / 半二重固定モード (Forced mode)
	Off	オートネゴシエーション (初期値)
Switch 3 (Copper スピード)	On	10M
	Off	100M (初期値)
Switch 4 (Copper 二重モード)	On	半二重モード
	Off	全二重モード (初期値)
Switch 5 (LLR)	On	LLR 有効
	Off	LLR 無効 (初期値)
Switch 6 (LLCF)	On	LLCF 有効
	Off	LLCF 無効 (初期値)

注意 図は設定例になります。ご使用になる前に必ず設定内容をご確認ください。

DMC-700SC/DMC-810SC/DMC-805G/DMC-1910T/R



DMC-700SC/DMC-810SC/DMC-805G

ディップスイッチ	On/Off	内容
Switch 1	On	全/半二重固定モード (Forced mode)
	Off	オートネゴシエーション (初期値)
Switch 2	On	LLR 有効
	Off	LLR 無効 (初期値)

DMC-1910T/R

ディップスイッチ	On/Off	内容
Switch 1	On	全/半二重固定モード (Forced mode) (初期値)
	Off	オートネゴシエーション
Switch 2	On	LLR 有効
	Off	LLR 無効 (初期値)

注意 図は設定例になります。ご使用になる前に必ず設定内容をご確認ください。

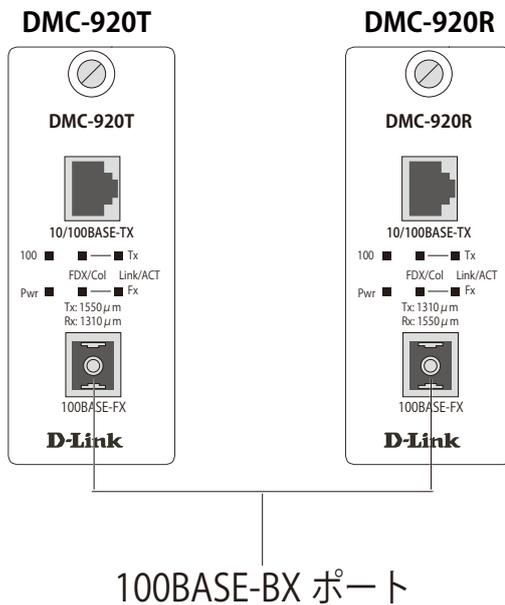
注意 DMC-700SC/810SC/805G/1910T/R は常に LLCF 有効になります。

注意 メディアコンバータを対向でご利用になる場合には、必ずディップスイッチ 1 を両方のメディアコンバータで ON (Force Mode) にしてご利用ください。また、メディアコンバータと Fiber でスイッチに接続する場合、スイッチについても固定にしてお使いください。

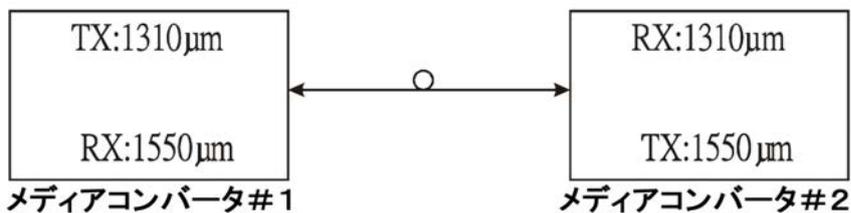
4. 設置と接続

二波長シングルファイバモード

DMC-920T/R、DMC-1910T/R は送信シグナルと受信シグナルをそれぞれ 2 種類の光波長でファイバに混合させます。リンクの両端には別々の機器が設置されます。モジュールが返答する間に、もう 1 つのモジュールは送信用に 1 つの光波長、受信用にもう 1 つの光波長を用いるため、これらの機器はペアで使用する必要があります。



TX(送信値)が 1310µm、RX(受信値)が 1550µm の DMC-920R (DMC-1910R) を使用する場合、対向には TX(送信値)が 1550µm、RX(受信値)が 1320µm の DMC-920T (DMC-1910T) を設置し組み合わせる必要があります。TX は対向に同等の光波長の RX と接続する必要があります。



注意

対向のコンバータも同様の設定 (オートネゴシエーション / 手動設定) になっている必要があります。対向で二つのコンバータを使用する場合、必ず「手動設定 (Forced mode)」に設定します。

注意

対向で二つのコンバータを使用する場合、どちらかのコンバータ 1 つのみ LLR を有効にする必要があります。

5. 付録

本項目では、リンクパススルー機能の機能についての説明します。

リンクパススルー機能について

リンクパススルー機能は、ケーブルの断線などでコンバータの RX ライン（例：UTP 側）のリンクが切断された場合に、反対側（例：ファイバー）の TX リンクを自動的に切断する機能です。通常のメディアコンバータは片側のリンクがダウンしても反対側のリンクは確立したままですが、リンクパススルー対応のメディアコンバータを利用すると、障害発生時にリンクが自動的に切断されます。リンクパススルーの機能には、LLR や LLCF の機能に分かれますが、製品により実装している機能や設定の可否が異なりますので、各製品の説明や DIP スイッチの説明の頁をご参照ください。

注意 リンクパススルー機能はどのリンクが切断されても検知できる機能ではありません。LLR および LLCF 機能が動作できる範囲内でのリンク断のみを検知することができます。

注意 LLR および LLCF 機能の有効/無効を設定するにはディップスイッチを設定する必要があります。詳しくは「[ディップスイッチを使った機能設定](#)」を参照してください。

注意 リンクパススルー対応機器は各製品の説明や DIP スイッチの説明の頁をご参照ください。製品により、常に有効なものや、DIP スイッチにより ON/OFF できるものがありますので、ご注意ください。

LLR (Link Loss Return) とは

機器とコンバータを接続している状態で、ファイバの RX ラインでロスがある場合、コンバータのファイバポートの TX ラインを切断します。

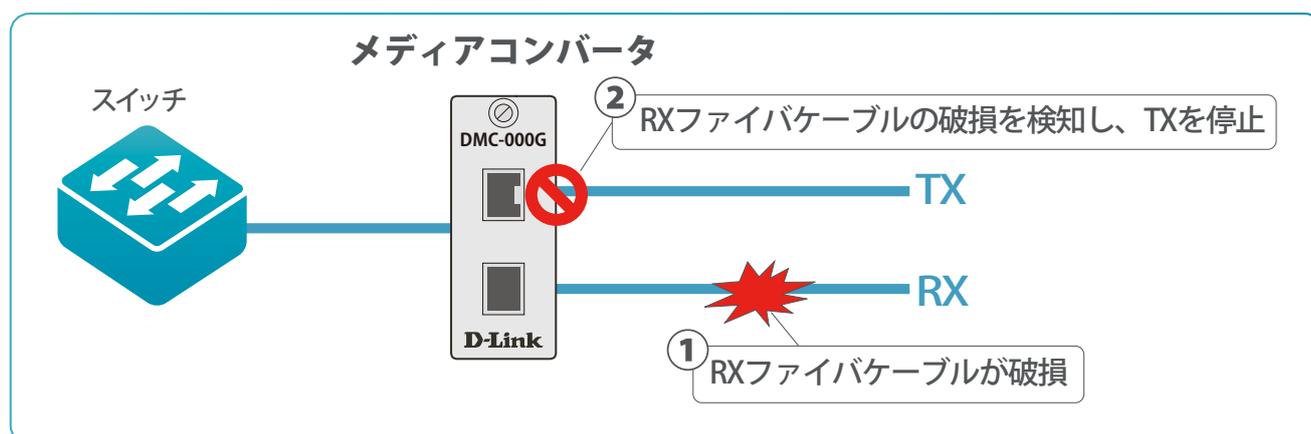
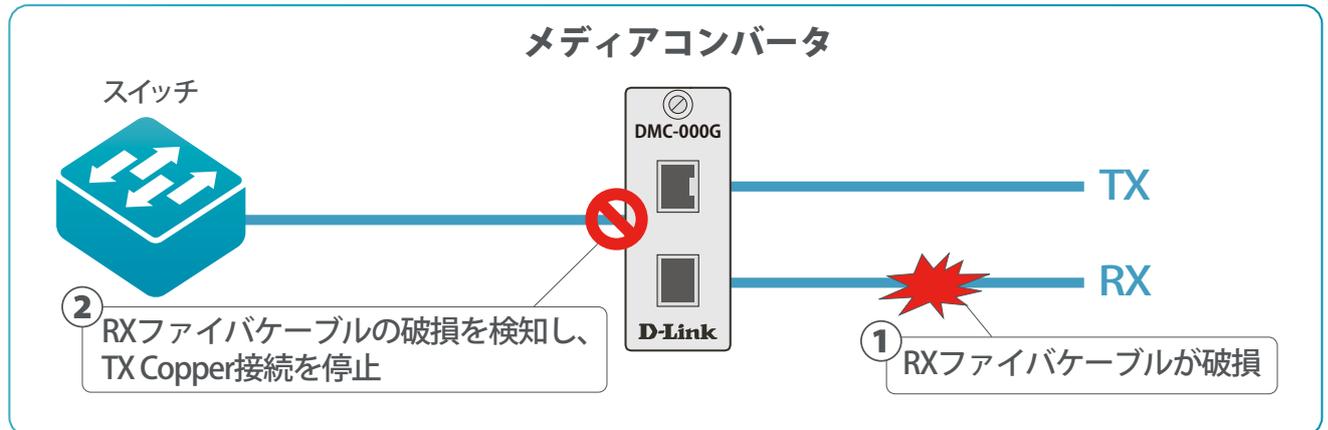


図 5-1 LLR 例

注意 コンバータを対向で使用する場合、両方の LLR を同時に有効にしないでください。（片側でのみ LLR を有効にします）

LLCF (Link Loss Carry Forward) とは

機器とコンバータを接続した状態で RX のラインがリンクをロスした場合、コンバータの反対側の TX ラインはリンクを切断します。そのため対向のポートはリンクエラーが発生していることを認識します。また、ファイバのラインがリンクをロスした場合は、コンバータのポートは切断され対向のポートはリンクエラーが発生していることを認識します。



注意 コンバータを対向で使用する場合、両方の LLR を同時に有効にしないでください。(片側でのみ LLR を有効にします)

6. 保証とテクニカルサポート

製品に関する保証について

本製品には「製品保証書」が添付されています。所定事項の記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。本製品の保証は、この「製品保証書」に記載されている「保証規定」に基づいて行われます。

製品に関するお問い合わせについて

下記事項をご確認のうえ、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

1. ユーザマニュアルを再度ご確認ください。
2. 弊社ホームページにてサポート情報をご確認ください。
3. ダウンロードサービスをご利用ください。

* 最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。

<https://www.dlink-jp.com/>

お問い合わせに必要な情報

迅速な問題解決のために、あらかじめ以下の点についてお知らせください。

- ・製品名
- ・お買い上げ年月日
- ・シリアル番号（本体または箱に貼付）
- ・ファームウェアバージョンまたはソフトウェアバージョン（ファームウェア、ソフトウェアがある製品の場合のみ）
- ・ご使用環境（OS、周辺機器など）
- ・エラーメッセージ表示されている場合は、その内容をお知らせください。

注意 並行輸入品や海外で購入した製品はサポート対象外です。また、ディーリンクジャパンが販売した製品（販売代理店経由で購入した製品）でも、日本国外で使用している場合は、サポート対象外となります。

個人情報のお取り扱い

ディーリンクジャパン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応、修理、その確認または製品の最新情報を通知するために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

日本国外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用できません。また、本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。なお、テクニカルサポートはディーリンクジャパンが販売した製品（販売代理店経由で購入した製品）を、日本国内で使用している場合のみしか受けられません。

廃棄方法について

本製品、外箱および緩衝材を廃棄する場合は、各自治体の指示にしたがってください。

商標について

「D-Link」は D-LINK CORPORATION および D-Link System Inc. の登録商標です。

Microsoft および Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

ご注意

本書はディーリンクジャパンが作成したものであり、すべての権利を所有しています。

弊社は無断で本書をコピーすることを禁じます。弊社は予告なく本書を修正、変更することがあります。

弊社は改良のため、製品仕様を予告なく変更することがあります。

Copyright 2017-2022 ディーリンクジャパン株式会社